

2017/05/02~04 第29回萩往還マラニック250キロ大会に参加して

奥野 孝

一昼夜24時間かけて走る140キロの部完走で十分満足していましたが、歴史あるこの大会が来年30回で終了するというので、それなら思い出作りにと無謀にもエントリーしてしまいました。

5月2日18:00 山口市の香山公園をスタート。しばらく河川敷を走っている間に日が落ち、初めてのエイド上郷駅前エイド(13キロ)では真っ暗に。1:20 豊田湖畔エイド(58キロ)でうどんの食事中何気なく携帯を見ると、ウエショウ、宿院さんからメール有り「今日サブトレ走りましょうか?もしかして萩の大会って今日かな?明日かな?」という内容で「ただ今レース中でうどん食ってます。昨日の18:00スタートでまだ快調!」と返信。ライブで逐次メールするのも面白いかなと思いましたが、これが最後で後はそんな余裕がなくなりました。

新大坊エイド(79キロ)で疲れが出てきましたが、海湧食堂(87キロ)でお粥をいただくと、夜明けの海岸線をスピードがおちても気持ちよく走れました。しかし千畳敷エイド(125キロ)をこえてからの午後の太陽は午前と違って様変わりし、気温急上昇で暑い暑い。正明市交差点(149キロ)では熱中症らしき兆候が現れ、ペットボトルの冷水を体にかいたり首筋を冷やしたりして歩きながら、もはやここまでかと脳裏をよぎる。

静ヶ浦キャンプ場エイド(158キロ)で食欲のない中、むりやりカレーを胃袋に入れると少し気分が回復し、仮眠のできる宗頭文化センター(176キロ)まで18キロを何とか明るいうちに着きたいと走り歩きで19:00に到着。ここを一つの目標としていたため、無事到着に涙がでる思いでした。

風呂に入り食事を済ませて20:00、さあ横になって毛布をかぶり寝ようと思っても熟睡できません。21:00に意を決して出発。夜の峠越えがあるので4人のランナーと御一緒させていただく。

2時間の休憩で気力は回復したようです。玉江駅エイド(195キロ)で3人はベンチで仮眠するとのことで、私は礼を言ってスタート。しかし調子よく進んでいたのですが、虎ヶ崎エイド(207キロ)手前の真っ暗な海沿いのアップダウンを1人で歩いていると猛烈な睡魔に襲われ、虎ヶ崎では食事後のテーブルにうつ伏せになってしばし熟睡。

ふと目が覚めると意外とスッキリした感じで走り出すことができ、萩焼会館(213キロ)あたりから2回目の朝を迎えることが出来ました。途中の峠で一度ベンチに横になりましたが、険しい石畳の残る板堂峠を越えてゴールまでの4キロのアスファルトは走り切ることができ、スタートから42時間0分21秒で無事戻ってくることができました。

初挑戦での完走は自分でも驚きで、たまたま体調がよくて、運も味方してくれたのでしょう。いい経験になりました。さて次は何処へ走りに行こうかな。